

令和2年度（2020年度）第1回北海道総合保健医療協議会地域保健専門委員会  
循環器疾患対策小委員会書面審議の結果について

【保健福祉部健康安全局地域保健課】

(1) 委員長・副委員長の選任

令和2年度（2020年度）当委員会における委員長・副委員長については、事務局案のとおり全委員より承認いただき決定いたしましたのでご報告いたします。

| 区分   | 所属                             | 職名   | 氏名    | 任期              |
|------|--------------------------------|------|-------|-----------------|
| 委員長  | 北海道大学大学院保健科学研究院<br>高次脳機能創発分野   | 特任教授 | 寶金 清博 | 令和3年<br>3月31日まで |
| 副委員長 | 札幌医科大学医学部<br>循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 | 教授   | 三浦 哲嗣 |                 |

(2) 北海道医療計画 年次評価及び中間見直しの方向性について

先に事務局より提案させていただいた年次評価及び、中間見直しの方向性のとおり整理させていただき、今後策定される国の「循環器対策推進基本計画」及び、北海道が策定する「都道府県循環器対策推進計画」を踏まえ、第8次医療計画に向けた検討を行ってまいります。

いただいた御意見等については、下記のとおり対応いたします。

| 委員名・意見等   | 対応  |
|---|---|
| <p>【岡部委員】〈中間見直しについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脳血管障害等に対する回復期リハビリテーション体制整備、高次脳機能障害に対するリハビリテーションを強化・推進することが必要と考えます。</li> <li>心血管リハビリテーション体制を整備、又、慢性心不全ネットワーク強化(緩和ケアも含めた)が必要と思われま</li> <li>す。</li> <li>・TIAの早期発見、介入に関しては如何でしょうか？</li> </ul> | <p>今後の取組の参考とさせていただきます。</p>  |
| <p>【中村委員】〈中間見直しについて〉</p> <p>各医療圏に、対策を立てる方向性を打ち出した方がよいと思います。地域により医療の状況が違いすぎます。</p>   | <p>医療計画の推進にあたっては、2次医療圏ごとに「地域推進方針」を策定し、地域の実情に応じた取組を推進しているところです。</p>  |
| <p>【三浦副委員長】</p> <p>〈年次評価について〉</p> <p>喫煙率と高血圧有病者の割合について、H30年とR1年の数値を比較出来ないが、いずれにしてもこれら進捗状況が不十分な項目に対する「今後の取組方針」の記載は不十分であると思います。</p> <p>〈中間見直しについて〉</p> <p>「今後策定される循環器病対策推進基本計画を踏まえて現状の指標及び記載事項を再検討する」としなければ新たな計画との整合性は取れないと考えます。</p>                        | <p>〈医療計画 年次評価について〉</p> <p>隔年・数年おきの調査を出典とした評価指標については、調査結果が公表されしだい、必要な対策についてご意見をいただきながら検討してまいります。</p> <p>〈中間見直しの方向性について〉</p> <p>今後、国が策定する循環器対策推進基本計画を踏まえた都道府県推進計画を策定いたしますが、医療計画については国の指針においても循環器対策推進計画を次期計画に反映することとしており、道においても次期計画に反映することとしております。</p> |